

遺伝子医療とピアカウンセラーの役割 -ピアカウンセラー養成講座の報告-

貝谷久宣¹・矢澤健司¹・大澤真木子^{1,2}・白木洋¹・村上仁江¹・大當孝志¹・貝谷嘉洋³・
小松智賀⁴・高井絵里⁴・松元智美⁵・川崎奈緒子⁵・○野口恭子⁴

(1.一般社団法人日本筋ジストロフィー協会、2.東京女子医科大学、
3.NPO法人バリアフリー協会、4.医療法人和楽会、5.早稲田大学人間科学研究科)

研究の目的

- ◆ピアカウンセラー養成講座は、進展著しい筋ジストロフィーの医療において、当事者や家族に対する啓発活動の一環として、情報提供や心理的サポートを行うことのできるピアカウンセラーの養成を目的とする。
- ◆遺伝子医療に関する意識調査(H23年度 武田班分担研究)では、遺伝に関する悩みを誰に相談するかという設問において、ピアカウンセラーという回答が複数認められた。
- ◆ピアカウンセラー養成講座は、筋ジストロフィーの遺伝子医療に主体的に関わるための基盤整備として必要であると共に、同じ障害をもつ当事者や家族が交流を深める機会を得るきっかけとしても有効であると考えます。

ピアカウンセラー養成講座

【期間】 2015年 計2回

10月17日(土) 第16回 in熊本

(テトリアくまもと内熊本県民交流館)

11月21日(土) 第17回 in岐阜

(独立病院 国立病院機構 長良医療センター)

【対象】

社団法人日本筋ジストロフィー協会会員と関係者のうち、受講しアンケートに回答した31名

- 熊本での受講者：23名
- 岐阜での受講者：8名

プログラム 【熊本】

『私が受けている在宅福祉』

貝谷嘉洋

(NPO法人 日本バリアフリー協会 代表)

『筋ジストロフィーの遺伝子医学及び遺伝カウンセリングについて』

大澤真木子

(一般社団法人日本筋ジストロフィー協会, 東京女子医科大学名誉教授)

『カウンセリングの心得と演習』

小松智賀(医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック)

野口恭子(医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック)

松元智美(早稲田大学人間科学学術院)

プログラム 【岐阜】

『心の健康法』

貝谷久宣

(一般社団法人日本筋ジストロフィー協会 代表)

『筋ジストロフィーの遺伝子医学及び遺伝カウンセリングについて』

大澤真木子

(一般社団法人日本筋ジストロフィー協会, 東京女子医科大学名誉教授)

『カウンセリングの心得と演習』

小松智賀(医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック)

野口恭子(医療法人和楽会 心療内科・神経科 赤坂クリニック)

川崎奈緒子(早稲田大学人間科学学術院)

ピアカウンセリングとは・・・

(全国自立生活センター)

ピア(peer):仲間

ピアカウンセリングとは・・・

- **1970年代はじめ、アメリカで始まった自立生活運動※
の中でスタートした**
- **お互いに平等な立場で話を聞き合い、きめ細やかなサ
ポートによって、地域での自立生活を実現する手助け
をする**

※自立生活運動は、障害を持つ当事者自身が自己決定権や自己選択権を育て合い、支えあって、隔離されることなく、平等に社会参加していくことを目指している

支えの相手による支えの効果の違い

支えの相手と内容

		考え方の肯定的な変化	受容	落ち込み・不安	不機嫌・怒り	無気力
配偶者	心	↑	↑	↓	↓	↓
	遊び	↑	↑	↓	↓	↓
	情報収集・助言	↑	↑	↓	↓	↓
	具体的援助	↑	↑	↓	↓	↓
家族	心	↑	↑	↓	↓	↓
	遊び	↑	↑	↓ ↓	↓	↓
	情報収集・助言	↑	↑	↓	↓	↓
	具体的援助	↑	↑	↓	↓	↓
医療関係者	心	↑ ↑				
	遊び	↑ ↑				
	情報収集・助言	↑				
	具体的援助	↑				
仲間	心	↑ ↑				
	遊び	↑ ↑				
	情報収集・助言	↑ ↑				
	具体的援助	↑ ↑				

つまい・・・

● 仲間の支えの役割

- 一人じゃない, 仲間がいるという心強さ
- 経験者だから分かる共感と励まし
- 経験者としての助言・情報提供
- 入院・行事のときの助け合い

● 仲間の存在は, 我が子が筋ジスであることをプラスに捉えること (価値観の変化) を促進

- 仲間からの情報提供は, 具体的な助言であると同時に, 見通しが持てるため心の安定に大きく作用

(三浦)

ピア カウンセリング

共感的理解

情報提供セラリング

- 1) 共感的理解
- 2) 無条件の肯定的配慮
- 3) 自己一致(純粋性)

遺伝カウンセリング

専門的な知識
正確な情報提供

心理療法

カウンセリングの基本姿勢 (ロジャーズ, C・R)

共感的理解

「あたかも」体験しているかのように理解する

**無条件の
肯定的配慮**

**自己一致
(純粋性)**

自分の価値判断は
おいて、話を聴く

自分の感じ方にも
注意を向ける

カウンセリングの目的と意義

1. 気持ちの吐露

じっくり聴く

- カタルシス効果, 気持ちが落ち着く

2. 自分自身の感情や考えの整理

整理して引き出す

- 話しているうちに, 自分自身の感情や考えに気づく
- なぜ苦しいのか / 自分はどうしたいのか...

3. 今後の対応策を見つける

自己開示と要約

- “どうしたいのか”が対応の道標
- 具体的・客観的な助言を参考に, 本人が決定

本日の練習ポイント

①受容の態度

じっくり聴く

(視線, うなずき, 姿勢, 声の調子)

②繰り返し

③質問

整理して引き出す

④いいかえ

⑤自己開示、助言、意見

⑥要約

自己開示と要約

参加者の属性

年齢 無回答1例

平均年齢= 47.6

SD=13.8

性別 無回答1例

男性=11

女性=19

患者との続柄 無回答4例

本人=10(平均年齢40歳)

父=0

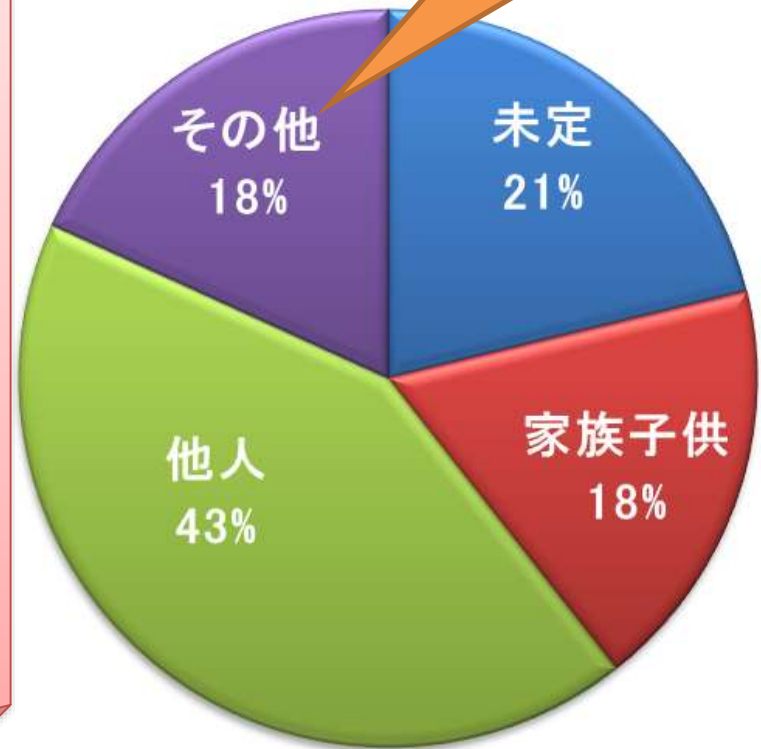
母=6

その他=11

兄弟、介護者、医療関係者

アンケートの結果

- ◆ボランティアや仕事でも役に立つと思ったから
- ◆仕事で患者さんのお話を聞くことが多いので、スキルアップのために、身につけたくて
- ◆同じ悩みを持つ人の支えになりたいと思ったから

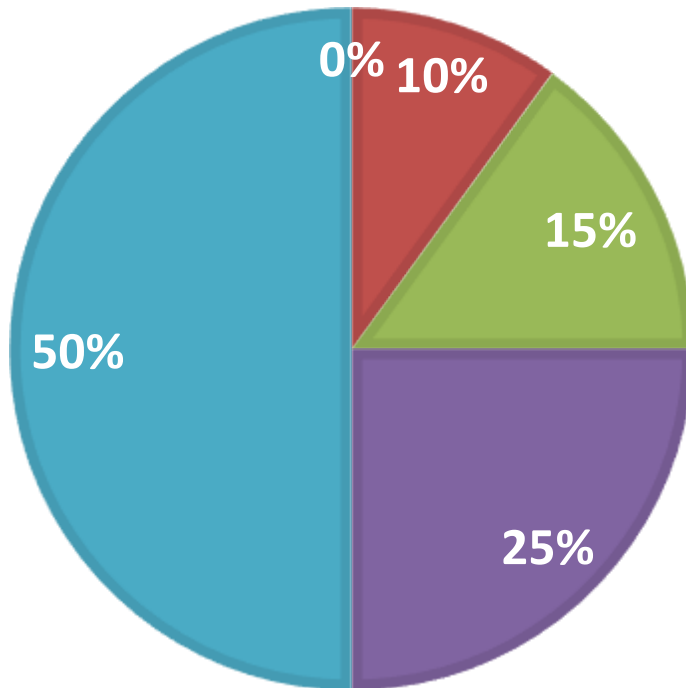


いつでも、誰に対しても。仕事でも使いたい

在宅福祉

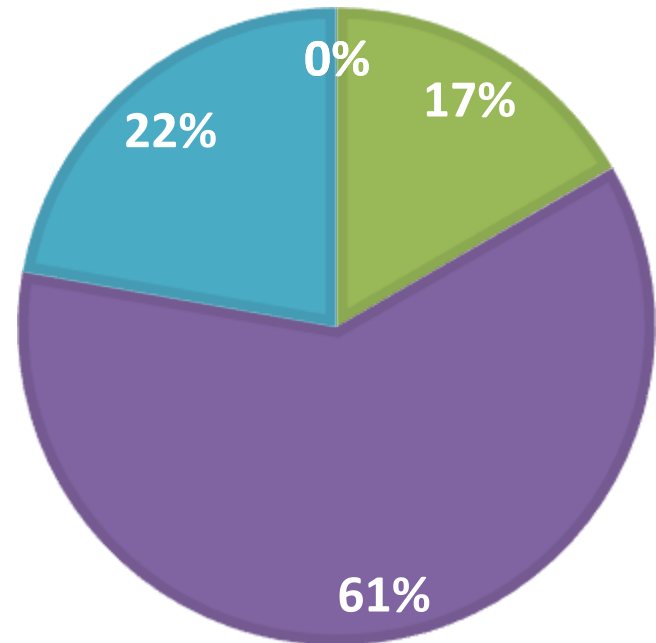
理解度

- よくわからなかった
- なんとなくわかった
- よく分かった
- だいたい分かった
- とても良くわかった



活用度

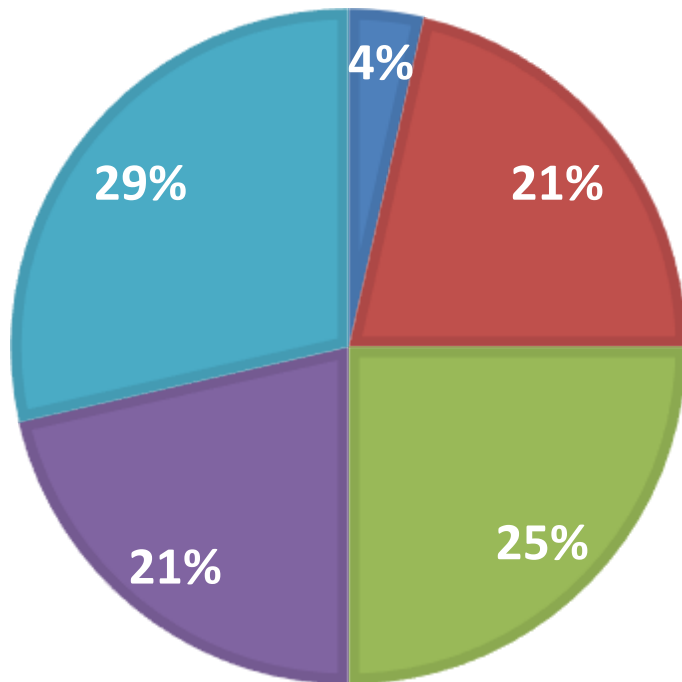
- 役に立ちそうもない内容だった
- あまり役に立たなそうだった
- どちらでもない
- 役立ちそうだった
- とても役に立ちそうな内容だった



遺伝医学

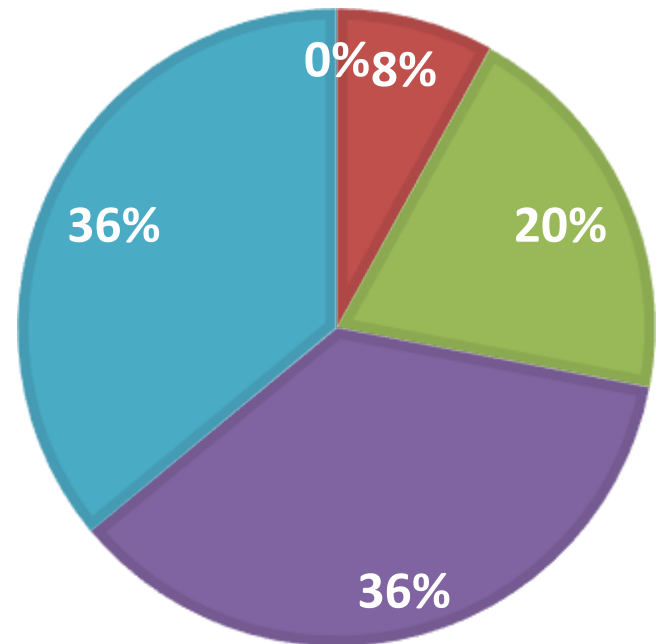
理解度

- よくわからなかった
- なんとなくわかった
- よく分かった
- だいたい分かった
- とても良くわかった



活用度

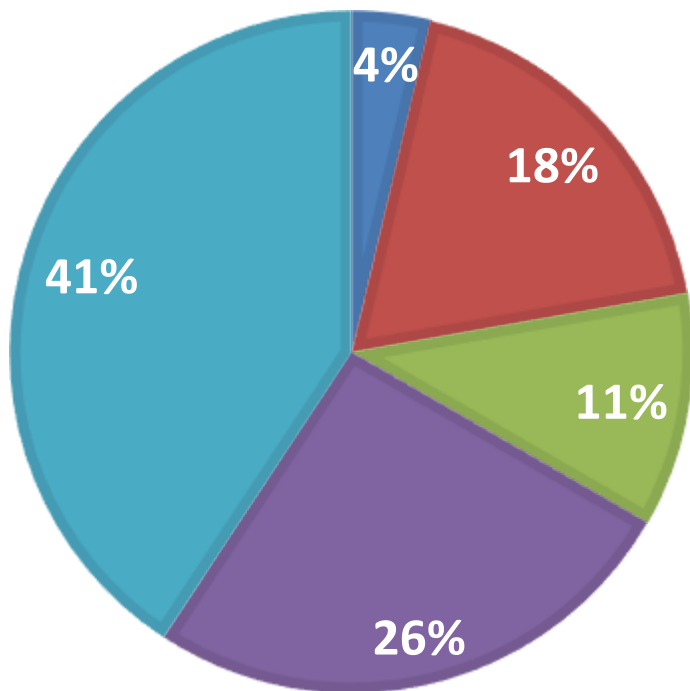
- 役に立ちそうもない内容だった
- あまり役に立たなそうだった
- どちらでもない
- 役立つそうだった
- とても役に立ちそうな内容だった



カウンセリングの心得 & 演習

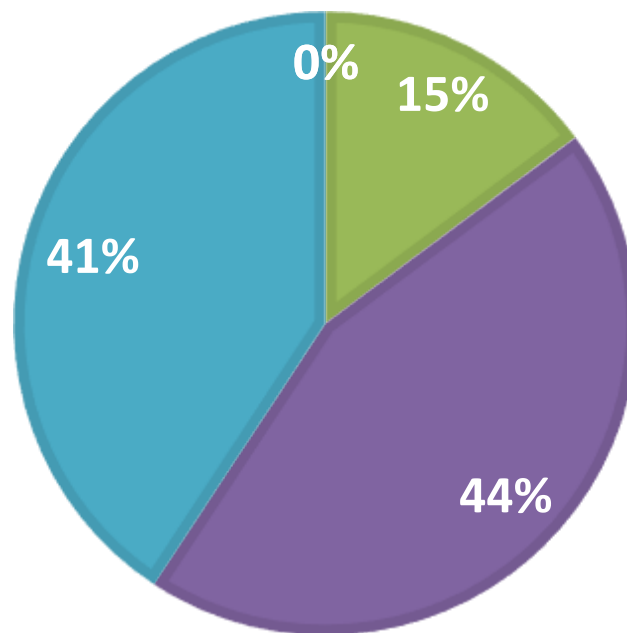
理解度

- よくわからなかった
- なんとなくわかった
- よく分かった
- だいたい分かった
- とても良くわかった



活用度

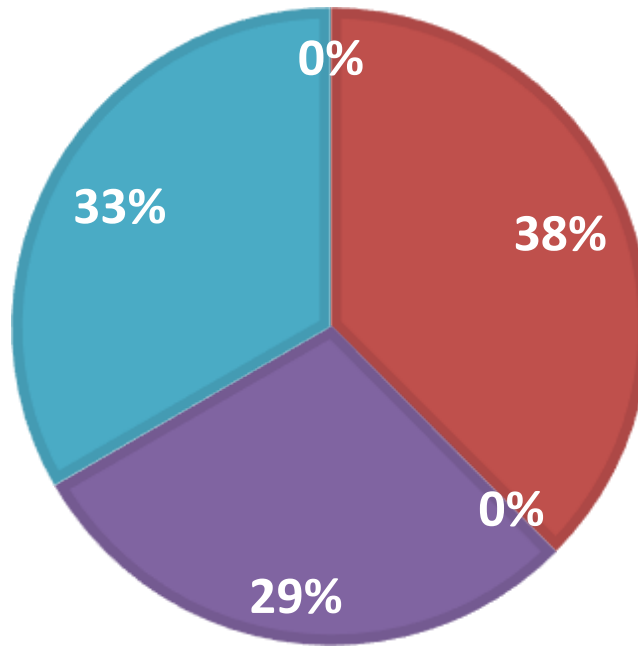
- 役に立ちそうもない内容だった
- あまり役に立たなそうだった
- どちらでもない
- 役に立ちそうだった
- とても役に立ちそうな内容だった



カウンセリングの心得 & 演習

習得度

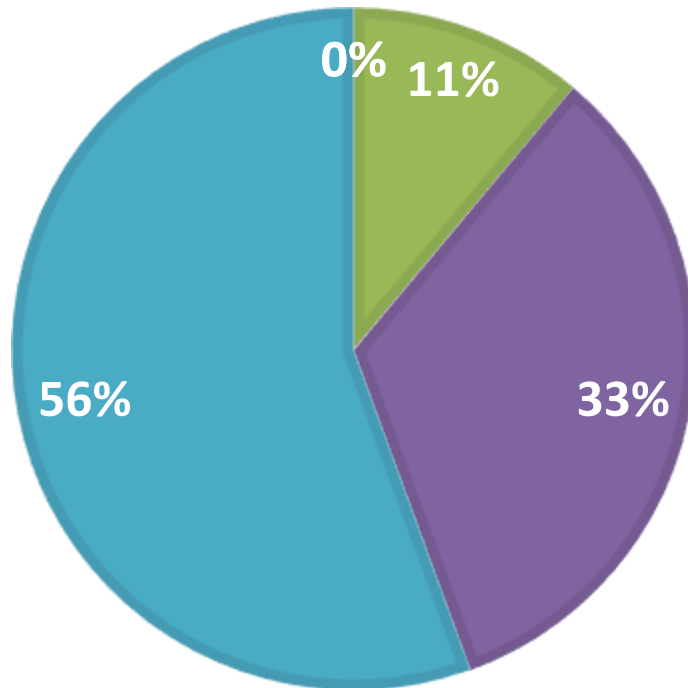
- 自分にはできないと思った
- 少し難しかった
- どちらでもない
- 少し実践できそうだった
- 実践できそうだった



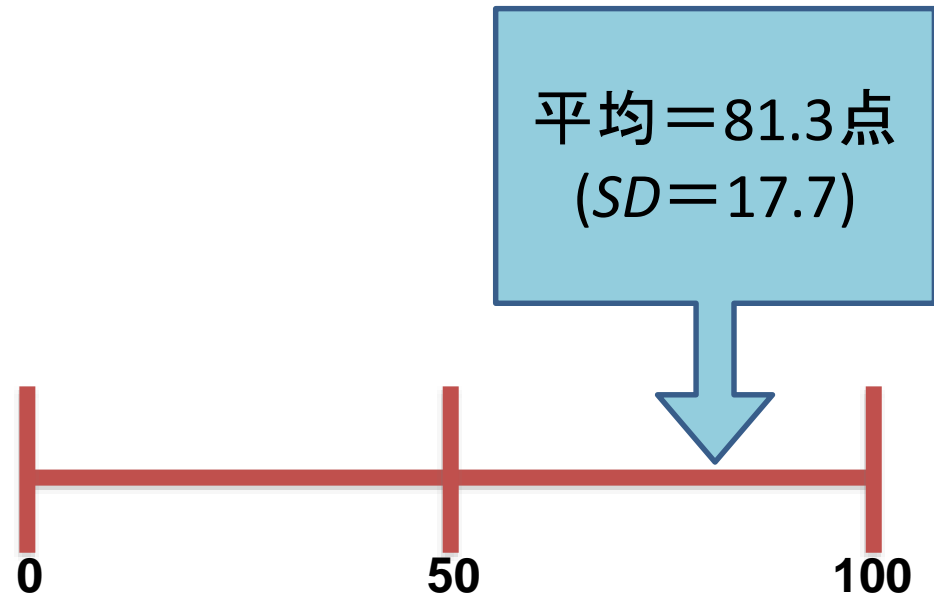
ピアカウンセラー養成講座全体

満足度

- 全く満足していない
- あまり満足していない
- どちらでもない
- やや満足している
- とても満足している



満足度VAS



講演/ロールプレイの様子



講演/ロールプレイの様子



講演/ロールプレイの様子



ピアカウンセラー認定証のお渡し

